

Come ride with us.  **HONDA**

NEW CBR 600F
SUPER SPORT





飾らない



飾らない、走りの本質を愉しむ。



いままで何台ものスポーツバイクを乗り継いできた。

これからは、ただ走ることを純粋に愉しみたい。

自分にとっても忠実に、素直な気持ちで愉しみたい。

回帰を願うライダーに必要なのは、
新しいスケールのスポーツバイクではないだろうか。

そして、公道で存分に扱えるパワーを
最適なバランスで考えたとき“600”は必然だった。
自然体のフォームが馴染み、語りあえるマシンとなった。
すべてのポテンシャルを余すことなく引きだせる心地よさに、
飾らない走りの本質を見出すことができるだろう。

好感のウエルバランス、
ミドルクラスの愉しさを、
エアロフォルムで包みこんだ。

I Discovered the Path

Floating in Reflection

風を味方につけるCBR600Fの流麗なフォルムは、
はじめて見るものにも安らぎを与えてくれる。
バイク歴を重ねてきたライダーならば、
車体細部の造形から実力を感じ取り、
虚飾を廃した質実剛健さに好感を覚えるだろう。
“人間が制御しきれぬ十分なパフォーマンス”を発揮する、
最適なスケールが“600”だ。
選び抜かれた最善の機構。
走りの心地よさを引き出すバランスの妙。
欧米スポーツプロダクションレース
(ライト・チューニング市販車によるカテゴリー)
での活躍ぶりで証明された、なお高い潜在力。
ホンダの本質重視のスポーツスポーツ思想が、
ここに具現化したのである。

POWER UNIT

専用設計の水冷直列4気筒DOHC16バルブエンジン。その洗練されたメカニズムを燃焼行程で追っていかう。まず、一層の充填効率を求め、エアクリナーからキャブレター(φ34mm相当・CVスラントタイプ)、そして燃焼室に至る経路を直線化したストレートポート設計。サイド・カムチェーン方式で駆動されるカムシャフトが、大径バルブをダイレクトに開閉する。混合気は、ベントルーフ型燃焼室における11.6という高圧縮比の世界に導かれる。爆発を受けとめるセミスリッパースカートタイプのピストンとクランクシャフトは、ともにコンピュータ解析により軽量・高剛性を両立した形状。コンロッド・ボルトもまた、より高い燃焼荷重に対応するため高強度材HB149を使用した。180°爆発間隔のシリンダー同士を結んだ、4-2-1集合タイプのエキゾーストシステムにも注目してほしい。これは出力特性の最適化を図るため、排気干渉を新しい見地に立って活用する選択だ。この他にも、高出力を支える水冷式オイルクーラーの装備やアッパーケース一体型のシリンダーといった多彩な技術の

RIDING—I FOUND MYSELF



POWER UNIT

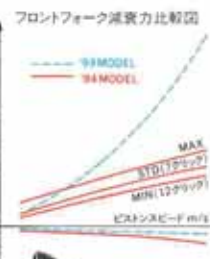
専用設計の水冷直列4気筒DOHC16バルブエンジン。その洗練されたメカニズムを燃焼行程で追ってこよう。まず、一層の充填効率を求め、エアクリーナーからキャブレター(φ34mm相当・CVスラントタイプ)、そして燃焼室に至る経路を直線化したストレートポート設計。サイド・カムチェーン方式で駆動されるカムシャフトが、大径バルブをダイレクトに開閉する。混合気は、ペントルーフ型燃焼室における11.6という高圧縮比の世界に導かれる。爆発を受けとめるセミスリッパースカートタイプのピストンとクランクシャフトは、ともにコンピュータ解析により軽量・高剛性を両立した形状。コンロッド・ボルトもまた、より高い燃焼荷重に対応するため高強度材HB149を使用した。180°爆発間隔のシリンダー同士を結んだ、4-2-1集合タイプのエキゾーストシステムにも注目してほしい。これは出力特性の最適化を図るため、排気干渉を新しい見地に立って活用する選択だ。この他にも、高出力を支える水冷式オイルクーラーの装備やアッパーケース一体型のシリンダーといった多彩な技術の



数々が、軽量・コンパクト・高剛性を求められるスポーツエンジンにふさわしい資質を与えている。

FRONT SUSPENSION

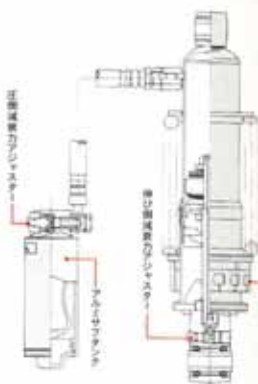
トータルバランスの向上のため、CBR600Fはカートリッジタイプのサスペンションを新たに装備した。インナーチューブ径は、急制動時の荷重も十分に受け止められる、大径薄肉φ41mm。伸び側・縮み側それぞれに独立した減衰バルブをもつため、ボトムケース内にセットされたシリンダー内で安定した減衰力を生むことができる。今回のグレードアップにより、スプリング・イニシャルセット量の可変機能に加え、伸び側の12段階クリック式調整も可能にした。



REAR SUSPENSION

放熱効果の高い別体式リザーバタンクの新装備により、さらに減衰特性の向上を果たしたプロリンク・リアサスペンション。

オイル通路をらせん状にして初期作動をより滑らかなものにする、定評のCIVS (Carvon Improved Valve System) IIIダンパーと、高剛性の角パイプ製スイングアームにより、粘りのある脚まわりを構成して



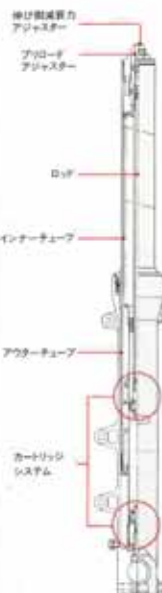
いる。また、伸び・縮みの減衰力、スプリング荷重のそれぞれを単独で調整できるフルアジャスト対応となったことで、ライダーにセッティングの自由度を与えている。

FRAME WORK

CBR600Fの主要骨格に選ばれたのは、剛性感と適度なしなりを併せ持つスチール角パイプ製のツインチューブフレーム。軽合金によって剛性を高めたフィーリングよりも、しなやかな操安性が600ccのスポーツバイクにはふさわしい、との実質的判断によるものだ。さらに、重いも

MYSELF





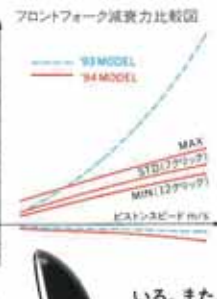
数々が、軽量・コンパクト・高剛性を求められるスポーツエンジンにふさわしい資質を与えている。

FRONT SUSPENSION

トータルバランスの向上のため、CBR600Fはカートリッジタイプのサスペンションを新たに装備した。インナーチューブ径は、急制動時の荷重も充分に受け止められる、大径薄肉φ41mm。伸び側・縮み側それぞれに独立した減衰バルブをもつため、ボトムケース内にセットされたシリンダー内で安定した減衰力を生むことができる。今回のグレードアップにより、スプリング・イニシャルセット量の可変機能に加え、伸び側の12段階クリック式調整も可能にした。

REAR SUSPENSION

放熱効果の高い別体式リザーバタンクの新装備により、さらに減衰特性の向上を果たしたプロリンク・リアサスペンション。

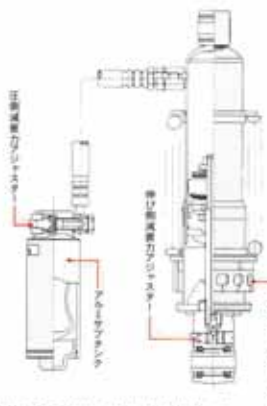


オイル通路をらせん状にして初期作動をより滑らかなものにする、定評のCIVS (Carvon Improved Valve System) IIIダンパーと、高剛性の角パイプ製スイングアームにより、粘りのある脚まわりを構成して

いる。また、伸び・縮みの減衰力、スプリング荷重のそれぞれを単独で調整できるフルアジャスト対応となったことで、ライダーにセッティングの自由度を与えている。

FRAME WORK

CBR600Fの主要骨格に選ばれたのは、剛性感と適度なしなりを併せ持つスチール角パイプ製のツインチューブフレーム。軽合金によって剛性を高めたフィーリングよりも、しなやかな操安性が600ccのスポーツバイクにはふさわしい、との実質的判断によるものだ。さらに、重いも



のはより重心近くにレイアウトする“マスの集中化”も徹底的に実施。その結果、地上525mmの低重心化と、キャスト角25°05'、ホイールベース1,405mmなどの各部のディメンションが調和して、安定感と切れ味が両立するステア特性が実現した。

EQUIPMENT

●シフトドラムのプロフィール形状変更により、シフトタッチを向上 ●トリプルブレーキシステム(F:ダブルディスク/2ポットキャリパー、R:シングルディスク/1ポットキャリパー) ●スポーツ走行にしっかり応えるZR規格のラジアルタイヤ(F:120/60ZR17、R:160/60ZR17) ●ライディング時のホールド感を高めるステップガード ●走りの情報を的確に伝えるシンプルな3連メーター ●操作性を重視したオーガニックデザインのスイッチ類 ●好みの握り幅に調整できるアジャスタブル・ブレーキレバー ●ゴールドに輝く“O”リング・シールドチェーン ●節度ある操作フィールのクリック式フューエルコック ●新形状、アルミ製サイドバー&ピリオンステップ、ステップホルダー ●ツーリングに便利な荷掛けフック ●メンテナンスや駐車時に便利なセンタースタンド ●良好な後方視界を確保した可倒式バックミラー ●後方の被視認性を高める2バルブ点灯方式のテールランプ ●昼、夜間の走行を支える常時点灯式の60/55W異形ハロゲン・ヘッドライト ●フロントウインカー内にポジションランプ装備。





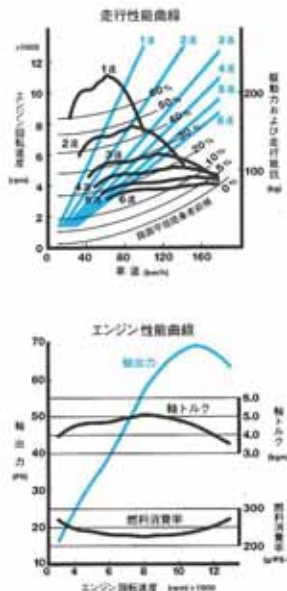
●車体色:ブラック ■メーカー希望小売価格 **¥745,000** (北海道、沖縄および一部地域を除く)

SPECIFICATIONS

型式	PC25
全長 (mm)	2,020
全幅 (mm)	0.555
全高 (mm)	1,130
軸距 (mm)	1,405
最低地上高 (mm)	0.140
シート高 (mm)	0.810
車両重量 (kg)	206
乾燥重量 (kg)	187
乗車定員 (人)	2
燃料消費率 (km/l)	30.0 (60km/h定地速走行テスト値)
最小回転半径 (m)	3.0
エンジン型式・種類	PC25E・水冷4サイクルDOHC4バルブ4気筒
総排気量 (cc)	599
内径×行程 (mm)	65.0×45.2
圧縮比	11.6
最高出力 (PS/rpm)	69/11,000
最大トルク (kgm/rpm)	5.1/8,000
キャブレター型式	VP40
始動方式	セルフ式
点火装置形式	フルトランジスタ式バッテリー点火

●定地燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。
したがって走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。

※価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれていません。※価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※速度警告装置等はタイプ設定してあります。(10,000円高) ※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。※車体色は印刷のため実物と多少異なる場合があります。※PRO-LINKは、本田技研工業㈱の登録商標です。



バイクが好きだから、セーフティライド。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。●点検整備を忘れずに。●安全のため改造はやめましょう。
- 心にゆとりのもてるスピードで走りましょう。●カーブ・交差点ではスピードをひかえめに。
- 昼間はヘッドライトを必ずロービームにしましょう。

■バイクには、バイクにふさわしい服装で乗りましょう。

ライディングに求められる服装は、まず機能に徹していることです。道路上でよく目立ち、身体にフィットした長袖、長ズボンの動きやすく運転しやすいものをお選びください。ヘルメットのおこひもをしっかりしめ、手袋も忘れずに。

■安全運転普及指導員が、ライディングアドバイスを実施しています。

●安全運転普及指導員は、バイクを安全、快適にお乗りいただくためのセーフティアドバイスを伝える、バイクのライディングアドバイザーです。バイクに関することなら何でもご相談ください。お近くのホンダ二輪販売店で、安全運転普及指導員がお待ちしております。

●スポーツバイク販売店で、安全運転のための知識が身につく小冊子と、ライディング時の注意点や自分の運転タイプが質問によってチェックできるアドバイスシートを用意しています。あなたもトライしてみませんか。



■ライディングの基本から応用までを、身体で覚えるためのトレーニングです。

●全国5カ所のホンダ交通安全センターで開催しているHMS(ホンダ・モーターサイクリスト・スクール)は、本格的にライディングのレベルアップをしたいと考えているライダーのためのトレーニングシステムです。トレーニング用二輪車を完備したトレーニング専用施設で、専門のインストラクターが指導いたします。



●HSR(ホンダ・セーフティ・ライディング)プラザをはじめとする、全国約100カ所の会場で開催しているホンダ・スポーツライディング・スクールは、ご自分の愛車に慣れていたいただくための初心者向けトレーニングシステムです。ライディングの基本から自分のテクニックの限界まで、楽しく安全を学ぶことができます。



※上記のお問い合わせは、お近くのホンダ二輪販売店へどうぞ。

■愉快なバイクライフに1枚。いつでもどこでも使えるH・A・R・Tメンバーズカードがお役に立ちます。

バイクに乗るたび、きっと新しい発見を発見できる。H・A・R・Tは、バイクライフを心からエンジョイしたい人のために、特典やイベントをいろいろと用意したホンダのライダーズクラブです。DC/VISA、ユースホステルとのジョイントで使いみちもグリーンとアップし、いつでもどこでも使えるようになったH・A・R・Tメンバーズカード。これ1枚で、キミのバイクライフはグッと充実。お申し込み、お問い合わせは、お近くのH・A・R・T加盟ホンダ二輪販売店へどうぞ。



見る・見られる・いい運転。 Be Riding Friends!

●バイクは昼間もライト・オン!
●カーブ・交差点では、スロー・インクダウン!

バイクでひろがるいい仲間。

ホンダカード



ホンダカードをおもちになると、キャッシュレスで、全国のホンダカード加盟店のホンダ製品及び用品の購入、乗換等に、総額100万円(利用限度額)までご利用になれます。また、簡単な手続きで分割払いもできます。JCBホンダカードは、さらに国内外合わせて180カ所のJCB加盟店(全国各地のホテル、デパート、専門店、ガソリンスタンドなど)でもご利用いただけます。

●お問い合わせは、ホンダ販売店(加盟店)へお気軽にどうぞ。

ホンダ・クレジット



わずかな現金とかんたん手続きで、ホンダのバイクが求められるいただけます。

HONDA
本田技研工業株式会社
〒107 東京都港区南青山2-1-1 電話(3423)1111
※本カタログの内容は1993年10月現在のものです。
94CBR600-K-310

ホンダ東京自販株式会社
〒156 東京都世田谷区桜3丁目20番7号
TEL 03-3426-1221 FAX 03-3706-1220